

日本性科学会 ニュース

第26巻第1号

平成19年(2007年) 3月

発行人: 大川 玲子 印刷所: 鞠文社

第36回性治療研修会

日時 2007年5月20日(日)
場所 東京慈恵会医科大学西新橋校1号館5階講堂

プログラム			
9:30 ~ 9:35	開会の挨拶	日本性科学会理事長	大川 玲子
9:35 ~ 10:20	セックスレスから16年	あべメンタルクリニック院長	阿部 輝夫
10:20 ~ 11:05	身体疾患を持つ患者のセクシュアリティ	東京大学大学院医学研究科老年社会科学講師	高橋 都
11:05 ~ 11:15	休憩		
11:15 ~ 12:00	挿入困難な膣への治療	千葉医療センター産婦人科医長	大川 玲子
12:00 ~ 13:40	昼休み(13:00 ~ 13:30 日本性科学会総会)		
13:40 ~ 14:25	生殖医療の最前線	埼玉医科大学産婦人科教授	石原 理
14:25 ~ 15:10	生殖看護の実践と課題	聖路加看護大学教授	森 明子
15:10 ~ 15:20	休憩		
15:20 ~ 16:30	良いカウンセリング・悪いカウンセリング	埼玉医科大学かわごえクリニック神経精神科講師 日赤医療センター臨床心理士 千葉県立衛生短期大学教授 日本性科学会副理事長	塚田 攻 金子 和子 大谷真千子 阿部 輝夫
16:30 ~ 16:35	閉会の挨拶		

第27回日本性科学会/第9回性科学セミナーのご案内

第27回日本性科学会/第9回性科学セミナーを下記のとおり予定しております。皆様奮って御参加下さいませようご案内申し上げます。

会 期	2007年11月10(土) 13:00 ~ 17:00 第9回性科学セミナー 11月11(日) 9:00 ~ 17:00 第27回日本性科学会 学術集会
会 場	千葉市民会館(JR千葉駅から徒歩7分) 千葉市中央区要町1-1 Tel. 043-224-2431
学 会 長	高波真佐治(東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科)
メインテーマ	「ヒトの性行動を考える」
基 調 講 演	動物の性行動から人間の性行動を理解する(仮題) 東北大学大学院生命科学研究科教授 山元 大輔 先生
教 育 講 演	青少年の性行動全国調査(仮題) 東北学院大学教養学部社会統計学教授 片瀬 一男 先生
特 別 講 演	未定
会 長 講 演	陰茎勃起のメカニズム
一般演題締切	2007年6月末日 400字以内の要旨をe-mailにて下記宛にお送り下さい。 e-mail アドレス: masaharu@sakura.med.toho-u.ac.jp
お問い合わせ先	〒285-0841 千葉県佐倉市下志津564-1 東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科 Tel: 043-462-8811 Fax: 043-462-8820

Vol. 26

No.
1

日本性科学会

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

日本におけるジェンダーとセクシュアリティの現状と課題から

— 医療の中のジェンダーについて —

主婦会館クリニック 堀 口 貞 夫

従来、医療の場において、社会文化的に作られた性別（ジェンダー）の視点で議論されたことは殆どなかった様に思う。人という他の哺乳類と異なる身体的特徴を持つ動物として、一括りにして病を捉え、せいぜい疾病構造の身体的性別による性差を考えるに留まっていた。1980年代に入り性差医療（gender specific medicine）という概念が提唱された。日本では1992年に日本性差医学研究会が発足したが、基礎医学的に性差の問題を取り上げるに止まった。そのご、医療を「病を持った生活人に対処するもの」と捉えるとき、男性と女性の身体的異常であっても社会的な枠組みの影響を受けているものとする様になった。そうした問題意識から医療においても単に gender specificにとどまらず、gender sensitive medicineであるべきだとされる様になった。

例えば、1960～70年頃には手術適応となる子宮筋腫と診断した場合、必ず後日夫と一緒に来院してもらい、そこで疾患の説明や治療法についての説明を行なうのを当然の事としていた。産科領域では、出産の安全性を求めて施設分娩を推進することで、1950年には5.6%だった施設分娩が、1960年には50.1%、1965年には75%を超え、1970年には96.1%となった。妊産婦死亡率は1/3、周産期死亡率は1/2に減少した。しかし妊婦は家族と切り離され、孤独と不安の中で出産する事となった。夫が分娩室に迎えられたのは、1980年代に入ってからであった。患者の声に押されて女性外来を開設している施設は89.2%に達しており、日本産婦人科医会会員の中の女性医師も2006年の調査では19.7%となっているが、同会役員59名中女性は3名（5.1%）である。

一方、一般の中高年世代のジェンダー意識についてはどうだろうか。をセクシュアリティ研究会*が2000年と2002年に「我が国の中高年者の性意識と性行動の現状」を知る事を目的として、40才から79才までの方達を対象として行ったアンケート調査の結果**の中から見てみる。

2000年の調査時点で69才の人は、1921年に生まれ、戦争中に思春期を過ごし、35才の時に売春防止法が公布された。40才の人は、その4年後の1960年に生まれ、国連で女性差別撤廃条約が成立した1979年前後が思春期であった。男女雇用機会均等法が公布された1984年には夫々63才と24才で、此の年に行なわれた東京都性教育研究会調査「児童生徒の性」の高校三年生の性の開放度の指標とした、婚前交渉に対する意識は、「いけないこと」とする者は、男生徒の12.9%、女生徒の32.5%であった。リプロダクティブ・ヘルス/ライツが謳われた1995年の第四回世界女性会議（北京）には、それぞれ74才と35才である。そして2004年の東京都性教育研究会調査の高校三年生の「婚前交渉はいけないこと」とする者は、男生徒の9.9%、女生徒の5.0%と著明に減少し、男女の逆転が見られる。

「性について口にしてはいけない」「性の目的は子どもを産む事である」と思っている人は有配偶、単身ともに10%前後とそれほど多くないが、「口にしてはいけない」は女性では60才代から20%を超え、70才代では35%を超える。男性は年代による変化は少ないが、有配偶の70才代だけは30%になる。

「性の目的は子産み」とする人は、有配偶の70才代で男女とも20%を超える他は、男女、年齢、結婚の有無による差は認められない。

「性は楽しいもの」を否定する人は、女性では40才代の有配偶では27%、単身では25%で、その後加齢とともに増加し70才代には43%をこえる。男性では有配偶、単身ともに20%以下で年代による差はない。

「性は男性がリードするもの」と考えている人は比較的多く、男女差は無くほぼ同率で25%から、年代とともに増え70才代では有配偶は70%前後単身は50%前後となること、全年代を通じて単身の方が低率（10ポイント低い）である。

「夫（男性）の性的な求めに応じるのが妻（女性）の心得」とする人は、30%以上と多く男女差も少ない。しかも年代が高くなるに従って増え、50%を超えるが、単身の女性では「そうではない」とする者が多く、特に40才代50才代では八割を超える。有配偶の40才代も86%は「応じなければならない」とは思っていない。

これに関連して、有配偶者について「気乗りしない性交に応じる事が、よくある」と「時々ある」を併せると女性では、40才代では38%で以後、年代とともに増加し70才代では57%になる。男性では「よくある」は殆ど無く、「ときどきある」も11%以下であるが、70才代では23%と増加している。

「女性が求めるのは恥ずかしいこと」と思う女性は20%前後で年齢が高い方が多いが、男性は各年代とも5%以下で「もっと自由になって良いよ」と言っている様に見えるが、どうだろうか。

今回の調査で明らかになったのは、結婚と言う法律的に保護された男と女の関係においては、「十分な肉体的満足」「精神的満足」を「いつも得られる」のは、有配偶の女性では12%程度であるが、有配偶男性と単身者では男女とも25～34%と二倍である。単身者という緊張関係にある場合、日常生活の中での身体的触れ合いや性的欲求や感情を伝えあう努力を、単身男女の八割はしているのに、有配偶の男女では20～40%と少なく、我が国の中高年世代の問題点を示している。

* セクシュアリティ研究会：日本性科学会会員の荒木乳根子、石田雅己、大川一郎、大川玲子、金子和子、早乙女智子、渡辺景子、堀口雅子、堀口貞夫

** 第26回日本性科学会のシンポジウム「日本におけるジェンダーとセクシュアリティの現状と課題」で発表した。

第 26 回日本性科学会を終えて

村口きよ女性クリニック院長 村 口 喜 代

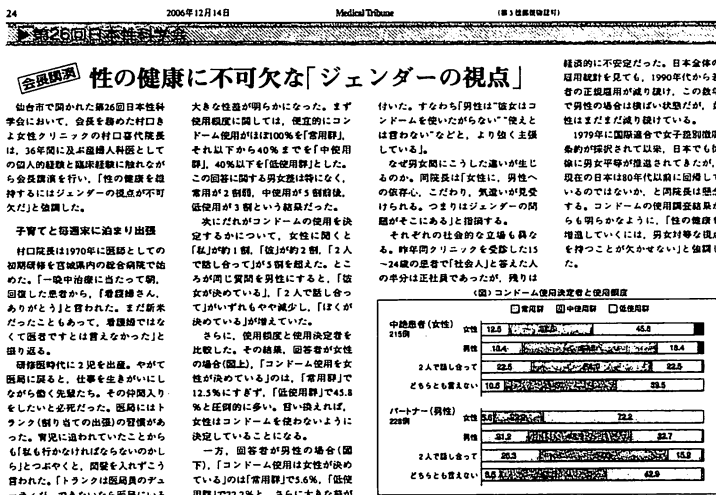
第26回日本性科学会／第8回性科学セミナーを昨年11月18, 19日仙台において開催した。学会のメインテーマは「ジェンダーとセクシュアリティ」(性科学セミナー「『性の健康』達成のために」)であった。「ジェンダー」は私にとって拘り続けてきた問題意識であり、本学会において是非「ジェンダー」を真正面にすえて議論してほしいと考え続けてきたからでもあった。「ジェンダー」へのバックラッシュが先鋭化する最近の状況の中で、どのように展開すべきか試行錯誤した。学会企画の基本原則として、①講演者・座長等オーガナイザーの男女比率は1:1とする、②ジェンダー概念、歴史的背景と現状認識をしっかりと押さえる、③ジェンダー問題を多方面からかつ社会科学として明らかにする、④シンポジストは身近な仙台の方にも、⑤性科学をめぐる最新の情報を提供する、⑥学会の成果を広く市民に還元するための市民公開講座を行う、⑦ランチョンセミナー、等を考えた。

学会参加者は199名であり、うち非会員の参加が多く61.3%を占めた。仙台周辺の参加者はほぼ4割であり、札幌、九州、沖縄等全国各地からの参加いただいた。所属別では医師44.2%、保健師、助産・看護師、大学教員、大学院生、中・高・専門学校教員等のメディカル・教育・研究者の参加が33.5%を占め、本学会の広がりを感じた。

今学会の最大のイベントは、市民公開講座として一般公開した特別講演の若桑みどり氏の「西洋美術史に見るジェンダーとセクシュアリティ」であった。一般市民の参加がほぼ 300 名となり、たくさんの聴衆が若桑氏の話に引き込まれ・魅了されたあっという間の 1 時間半が過ぎた。「ジェンダー理論は、20 世紀に現れた人類の最新の解放思想であり、女性に、男性と等しい自由、権利を、そして平等を与える理論的根拠を初めて提供した」との立場から若桑氏は、母権制から父権制社会へと、その美術・女性像を辿り、21 世紀では「美術史の女性像」は人類史上最大の変化をとげ、第 3 のステージへと進むであろうと結んだ。

引き続きいて、ランチョンセミナーは北村邦夫氏の「過去・現在・未来から読み解くジェンダーとピル」、大川玲子理事長の教育講演：性の健康学会 モントリオール宣言「ミレニアムにおける性の健康」、会長講演「性の健康とジェンダー」へと進んだ。芦野由利子氏による基調講演「ジェンダーの基本的概念および歴史的背景と現状」は30分という短時間にもかかわらず、ジェンダーの定義、歴史、核心部分を網羅していた。シンポジウムは各演者の其々の立場からの貴重な話を受けて、会場からの発言があり、十分なディスカッションとはいえなかったが、従来からの性役割が崩れつつある状況、2分法で語れない多様化に対する認識が進みつつあること等、ジェンダーをめぐる多岐にわたる議論がなされた。最後に座長から「ジェンダーを考えるときの重要なキーワードは、お互いの間のコミュニケーション力を高めることと、多様性に対してセンシティブであること2つでしょう」「マイノリティという言葉を使うとき、どういう立場・意識で使われたが重要なことである」がまとめの言葉とされ、それぞれが今後の方向性・課題を確認でき、実り多いい会となった。

その後、盛会だったとのねぎらいの言葉をたくさんの方からいただき、何とか責任を果たすことができ安堵したが、とても嬉しかったことは12月14日号のメディカル・トリビューンに学会の紹介記事が出たことだった。



セックスカウンセリング30年

日本赤十字社女性部がタウンセンタービルと性虐待部門とに設けられた。セックス・ワウチーに關して日本人のセックスと異質を有する。両部門がカウンセリングを担う臨床心理士の金子和子氏は「性被害者の家」として、この30年間の歴史統計資料を両者で提供した。その上より、かつての最大のトラウマは聴障障害であったが、最近では聴障障害者が目立つと、日本人の性被害が変化していることを示した。

金井氏は、同チームの性被害部門に1977年1月～2003年12月に性被害相談した2,252人(女性1,209人、男性1,043人)を主眼に、被害の経緯について調査した。相談者は2004年、2005年と激減しており、主訴の被害を見るには例数が少なすぎるため2003年を以て例年とした。

(図2) 男性の主訴の変移

年	性交障害 (%)	性欲障害 (%)
1977	60	10
1979	65	15
1981	60	10
1983	65	15
1985	70	10
1987	75	15
1989	70	10
1991	65	15
1993	60	10
1995	55	15
1997	50	10
1999	45	15
2001	40	10
2003	35	15

(1977～2003) 日本医療カンセン・カルカリンダマードス

はパートナーの「性嫌悪」が主になっている。また、定例的に相対であったオオガズに障害、月経不調や性慾に関する相対が著しく減少したとい

若者に目立つ性の過激さ

これら主訴の変移は、そのよう結果をなしている。

うか。食卓で争ひは同性的な主張が突つたことで、相対化し得ないものさし、あるいは問題の先延ばしにつながるが、この二つと互補する。つまり物起超絶音であるならば、氣が通らないように丁寧に誘導して赤みとセックスカンセリングを断れることになる。しかし交渉はであるが、性別がないという場合は、16歳の子供子を見てからだと、その時点でわくセリングは問題であるのである。

主婦が変化している背景には、見合い結婚から恋愛結婚への変化があるようだ。かつては、結婚しては行儀は初めてというケースがまれではなかった。そのための罰金などもかつての結婚に失敗し、その失敗が今後の失敗を招くというパターンが、古くからある（*マザー・イン・ラヴ*）。

近年において、総絶して性行為は
初めてというケースはまれであり、
【最近相續して来る勃起障害の原因は
もつと別の複雑な原因で、なおりに
くいの】が大きな特徴となっている。
セックスカウンセリングの主張
が、勃起障害から性欲障害に変わった
原因はなんでもであろうか、わが国の
臨床心理士はよくセックスカウンセ
リングの第一人者とされる岡氏にお
いて「原因について決定的なことは
現時点ではわからない。昔々人の
ご意見を伺いたい」といのが実状
だ。ただし一般的傾向としては、
「若者の性に対する淡泊さが目立つ」

と指摘。これら性被害者の相談者で、「セックスするなんて、面倒だから」、「なぜわざわざセックスをしなければならないのか」などと答えるケースが増えているという。岡氏は「性に対する感覚が変わってきている」と述べ、報告を終えた。

〔 DVD のご紹介 〕

The O Tapes (Roseworks Hollywood, CA 90038)
— American Women on Sexuality, Orgasm, Female Ejaculation and much more. —

国立病院機構千葉医療センター医長 大 川 玲 子

2005 年モントリオールの世界性科学学会会場は、性の多様性のキーワードに満ちていました。性機能障害関係では、ED 治療薬が席卷していた数年前と異なり、女性性機能障害 (FSD) のセッションが、どこも満席状態でした。そのなかで、The O Tapes の映画会は連日開催しており、「何だろうこれは?」「ボルノかしら?」とひやかし半分に見に行きました。観てびっくり、ユーモアたっぷり、共感をよぶ鋭い視点で女性の性反応、性機能障害を解説、性の喜びに案内するいわば教育テープです。スタートは CG 版アダムとイブ。イブの差し出すりんごを、アダムはおいしそうに、分けて欲しそうなイブには目もくれず 1 人で食べてしまいます。がっかりし怒ったイブが背を向けて去ると、アダムは「何を怒っている? 女の考えていることはさっぱりわからない。」という表情。その後、様々な年代、職業、人種の女性がインタビューに答えるかたちで、自分のセックスやセックス感を率直に語ります。特に印象深い話にはアニメの挿話などが入り、会場は笑いの渦になったりします。目次は、Hysteria, Learning, Masturbation, Good Girls vs. Bad Girls, The first time FSD, Penis size, In the bed room, The G-spot などなど 26 項目。歴史的話題や性科学者の解説も入ります。WAS でお馴染みの Beverly Whipple や Women's only の Berman も登場します。難点はやはり英語ですから、特に一般の人の話が早口で、私はついていけないところが多いのですが、文字情報も多いのでおおよそのことは分かります。できれば英語の堪能な方を含めて、グループでにぎやかに見ることをお勧めします。購入を含めた解説はホームページ。

www.theotapes.com

セックス・カウンセラー セックス・セラピスト 資格認定委員会報告

認定委員会委員長 阿 部 輝 夫

日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」資格認定更新規定 (日本性科学会雑誌に掲載) に基づき、平成 19 年度資格更新が行われます。「資格更新」に関する告示を、6 月発行の日本性科学会ニュースで行います。尚、更新該当者氏名 (登録順) は、以下のとおりです。資格認定更新規定を熟読の上、更新希望者は、ご準備をお願い致します。また、同時に、平成 19 年度新規資格認定に関する公示も、6 月発行のニュースで行います。

資格更新該当者氏名

セックス・セラピスト 茅島 江子・森村 美奈・大谷真千子・高橋 都

日本性科学会ニュース原稿募集のお知らせ

日本性科学会ニュースは、会員の皆様への一方通行の情報発信だけでなく、会員の皆様からの情報発信の場でもありたいと思います。ニュースに掲載したい原稿 (性科学に関する学会報告、症例報告、文献や書籍の紹介・感想) などございましたら、ぜひ学会事務局まで投稿してください。厳密な投稿規定はありませんが、投稿後に修正等をお願いすることもありますのでご了承のうえ、投稿をしてください。

会費納入のお願い

4 月より新しい年度 (平成 19 年 4 月 1 日より平成 20 年 3 月 31 日) に入りますので、平成 19 年度会費 15,000 円の納入を、よろしくお願い致します。手数料が無料となります。学会の郵便振替用紙を同封致しますので、ご利用下さい。